



Heart to Heart

2019年
2月



基本法の成立で期待される 循環器病診療体制の整備

榊原記念病院 院長 磯部 光章

厳しい医療環境の中、地域医療の発展に日々献身なさっている先生方と職員の皆様へ、心から敬意を表します。

また、日頃の当院へのご支援につきまして、改めてお礼を申し上げます。

このたび、「循環器病対策基本法（正式名：健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法）」が、国会で可決、成立しました。当院は、その制定を求める活動を支援してまいりました。

増加する心臓血管疾患患者に対し、予防・治療の対策を推進するための体制をどう整備するかという議論が続けら

れてきたことは、ご承知のことと存じます。

脳卒中や急性心血管疾患では、超急性期に治療をすることで予後を大きく改善できますが、脳梗塞の再灌流治療の施行率は、現在10%以下と推定されます。大動脈解離は緊急の手術が必要ですが、他院から当院に搬送中に死亡される患者も希ならずみられます。その改善にあたっては、救急医療体制の改革や遠隔治療を行うための体制整備、急性期病院の均てん化、重点病院の整備などが必要です。また、教育・啓発活動にあたっては、学校教育段階からの予防教育が求められます。高齢者

に対しては、効率よく初期の心不全や心房細動患者を発見する検診システムの確立も求められます。

さらに、疾患登録・追跡調査など、現状把握のための全国的な調査や医療の質を評価する体制構築も併せて行われることも重要です。

上記のような包括的な対策を推進するためには、国や自治体の支援が不可欠です。今回の同法の成立で、対策が実行され、国民の健康増進につながることを願っています。当院も新体制の一翼を担うべく、より一層の努力を惜しみません。

末筆になりましたが、皆さまとの連携を深める一助とするため、「Heart to Heart」を創刊いたしました。

今後とも、当院に対するご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。



新入職医師のご紹介



最新の治療技術をもって 高齢者医療に貢献します

副院長 循環器内科主任部長 **新田 順一**

副院長・循環器内科主任部長として赴任しましたのでご挨拶申し上げます。

私は1984年に福島県立医科大学を卒業後、東京医科歯科大学第二内科に入局し、大学病院、武蔵野赤十字病院および土浦協同病院でおもに循環器内科を研修後、1993年より2年間米国ベ일러医科大学に留学し不整脈診療と臨床研究に従事しました。帰国後は1995年に武蔵野赤十字病院、2004年にさいたま赤十字病院にて不整脈診療を立ち上げました。さいたま赤十字病院では東京医科歯科大学循環器内科前教授（現当院院長）、磯部先生のご指導により不整脈診療では全国でもトップクラスの症例数となりました。

この度、榊原記念病院という循環器

科専門病院で働く機会をいただき身の引き締まる思いです。私の専門とする不整脈とは脈の乱れる病気ですが治療を必要とするものから放置してよいもので様々です。脈の速くなる状態で治療を要する場合は薬かカテーテルでの治療となります。不整脈に対する薬剤は徐脈や心室性不整脈を誘発したり、心不全を起こしたりと長々内服してよいものはありませんが、カテーテル治療が大きく進歩し、不整脈の原因となる心臓の部分に数mmのやけどをすることで、不整脈を根治するカテーテルアブレーションという方法が治療の大きな割合を占めるようになりました。

また、徐脈や致死性不整脈に対するデバイス治療もこの10年でさらに発

展し、超高齢者に適したリードレスペースメーカーや心臓・血管系内にリードを留置しない皮下植込み型除細動器（S-ICD）など新しい治療ができるようになりました。さらに、デバイス治療の増加に伴い、感染症を合併しデバيسリードの抜去が必要になる症例に対してレーザーシースを用いた抜去も行っております。

専門は以上ですが長年、地域の基幹病院で働いてきましたので循環器科一般の高齢者医療も行ってきました。高齢者にはできるだけ侵襲的な治療を避け、患者さんに優しい治療を心がけていますが、一方でTAVIやリードレスペースメーカーなどのデバイスの進歩を超高齢者にも享受していただけるように努力したいと思います。

14年ぶりに多摩地区に戻り、これまで以上に病診・病々連携により地域医療に貢献したいと考えておりますので今後とも宜しく願い申し上げます。



高齢者の「心不全パンデミック」に 備えるためには、地域医療が 機能しなければなりません

心不全診療部門長 **加藤真帆人**

日本は世界でも例をみないほどの勢いで高齢化が進行しています。高齢者になれば、誰でも全身の筋肉が固くなり、もちろん「心臓の筋肉」も固くなります。つまり高齢者の心臓は「収縮する力は保たれていても拡張する能力が低下してしまった心臓」であるということです。このような心臓では、わずかな体液の増加によっても、たちまち肺うっ

血が生じ、うっ血性心不全として病院に救急搬送されます。これが「高齢心不全」の基本的な病態です。過去に心臓病の経験がなくても、歳をとるというだけでうっ血性心不全を発症する高齢心不全は、急激な高齢化とともに今後ますます増加し、「心不全パンデミック」となって、地域医療を直撃するでしょう。私たちはこの「高齢心不全の波」

に対処しなければなりません。

かつて心筋梗塞でたくさんの方が亡くなる時代がありましたが、医療の進歩と共に救急搬送システムを中心とした「地域医療の整備」により、その救命率は格段に改善されました。この例に習うまでもなく、今「心不全パンデミック」に備える地域医療の整備は喫緊の課題です。

榊原記念病院は多摩地区の支援病院として、かかる重要な課題に対処すべく、新たに「心不全診療部門」を設置いたしました。私はその部門長として、この地域の心不全診療を支えることが出来るよう尽力いたします。

今後とも宜しく願いいたします。

CT・MRIの更新

昨夏にCTの更新を行いました。今春にはMRIについても同様に行います。従来よりも高性能の機器で、先生方からのご要望をお受けできるようになりました。



CT シーメンス社SOMATOM Drive



MRI シーメンス社MAGNETOM Sola

災害対策訓練

10/6(土)、第1部と第2部の2部構成に分けて行いました。府中市、当院と周辺自治会の方々との共催とし、警察、消防にも協力をいただきました。

当院は、東京都の災害拠点連携病院として、災害発生時の救護活動に対する備えを万全に行っております。



榊原キッズセミナー

12/2(日)、当院で「第1回榊原キッズセミナー」を開催し、50組の小学生と保護者の皆様にご参加をいただきました。

次のような医療の疑似体験をできるブースを用意しました。

- 実際の縫合糸を使った縫合体験
- カテーテル治療で使うワイヤの操作体験
- AEDによる蘇生方法体験
- 3DCTの映像体験

その他合計 12 ブース



医師、看護師ほか病院で働く職員の仕事内容や医療に対する興味を持っていただき、病気と闘う子どもたちの応援団を増やすことができればという思いで、このセミナーを企画しました。

今後も、このような企画を通して、より地域と密着した病院を目指してまいります。

新田医師・加藤医師の外来

新田医師

- 🔥 午後 (初診・再診)
- 🏠 午後 (初診・再診)

加藤医師

- 🌙 午後 (再診)
- 🏠 第一 🔥 午前 (初診)

📞 医師の指定がある場合、お申込みの際にお伝えください。



受診のご相談～外来受診の予約方法～

電話 (医療機関専用)



042-314-3142

ご症状、受診希望日、ご希望の医師のほかに、患者様の氏名、生年月日、ご連絡先をうかがいます

FAX (医療機関専用)



042-314-3199

外来予約申込用紙をFax送信してください

ホームページ



<http://www.hp.heart.or.jp/>

お急ぎの方は、電話、FAXをご利用ください

救急のご相談



救急は、24時間365日お受けしております。

代表電話あるいは医療連携室（夜間休日は代表に切り替わります）にお電話にて救急であることをお伝えください。

入院要請は救急での相談となります。

お願い 予約調整のために事前に診療情報提供書等のFAX、もしくは、ご郵送をお願いすることがあります。

お問い合わせ先

医療機関様専用

電話 (医療連携室直通) 042-314-3142

FAX (医療連携室直通) 042-314-3199

受付時間

平日 月～金 9:00～17:20

休日 第1・3・5土 9:00～13:00
(祝日、年末年始を除く)

患者様へのご案内は
こちらの番号を
お願いいたします

外来予約の場合 専用番号 042-314-3141

ご予約以外のご用件 代表番号 042-314-3111

対応時間

平日 月～金 9:00～16:00

2019年 ゴールデンウィークの 診療体制について

本年のゴールデンウィークは、地域医療を確保する観点から、一部の日程で通常診療をいたします。

通常診療を行う日 ▶ 4月30日(火) 5月2日(木) 5月6日(月)

日本学術会議

公開シンポジウム

心疾患の診療提供体制：循環器病対策基本法制定を受けて

～かかりつけ医での診療・多職種介入・心臓リハビリテーションの定着に向けて～

日時 平成31年 3月21日(祝) 14:00-17:00

参加費 無料 (先着300名)

場所 日本学術会議講堂

(東京都港区 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口すぐ)

対象 一般医療者

当院ホームページで詳細の確認とお申込ができます。右のQRコードから申込フォームを呼び出せます。



主催 日本学術会議 (臨床医学委員会 循環器・内分泌・代謝分科会)

AMED「慢性心不全患者に対する多職種介入を伴う外来・在宅心臓リハビリテーションの臨床的効果と医療経済学的効果を調べる研究」研究班 (磯部光章代表)

厚生労働省「地域におけるかかりつけ医等を中心とした循環器病の診療提供体制構築の研究」研究班 (磯部光章代表)